

第5話 恐怖のアユールベーダー

アユールベーダーについてはよく聞かれるので一度は体験とホテルで聞いた店に行ってきました。古びたマンションの中にサロンはあり、初めに白衣の老人から生活習慣などの質問を受けた後別の部屋に移ったのですが中央に油でヌルヌルしたビニール張りのベッドがひとつと、隅に大きな竹かごがあるだけなんです。部屋に入ったら、隅にうずくまっていた色の黒いインド人の男性が二人むっくりと起き上がり身振り手振りで服を脱げと。カーテンはあってもすごく明るくてエーここぞと思いながら裸になったらタオルもくれず今度はベッドに上がれて言うのです。

このベッドがかなり高く、無言で見ている二人の前で何とも無様な格好でよじ登り仰向けになって、両手をどこに置くべきかと変なことを迷っているうちに二人によるマッサージが始まりました。この時点でもうリラックスどころか不安と緊張でやめて帰りたい心境でした。例の額に油をたらしたあと部屋の隅にあった竹かごに入れと指示され、これがなんだか生ぬるいサウナだったのですが竹かごのふたから漏れる光を見ながら僕はニワトリになったような気分でした。

最後にまた白衣の先生からお話があり、「貴方はバナナを1日1本にしておきなさい」と大真面目に言われ、返す言葉もなく僕の初めてのアユールベーダー体験は終わったのです。これがあのアユールベーダーかと本当に驚いたのですがその後、もっと素敵なサロンがあることを知りましたので誤解が無いよう申し添えておきます。

裸の写真が無いので、かわりに香辛料を葉っぱに包み噛んで味わう食べ物を売っているおじさんの写真です。僕は怖くて試したことはありませんがこのとき一緒だったコーパイに食べてみたらと冗談で言ったら彼は「ハイ」と答えて・・・ごめんなさい。

